

Ver 1.2

## オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく 温室効果ガス吸収プロジェクト申請書

プロジェクト名	諸塚村森林炭素吸収量活用プロジェクト
プロジェクト 代表事業者名	宮崎県諸塚村長 成崎 孝孜



提出日2009年10月23日

受理日2009年10月29日

最終版提出日2009年12月21日

A. 参加者情報			
プロジェクト代表事業者 ※1			
事業者名(フリガナ)	宮崎県 諸塚村		
住所	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683		
代表者氏名	成崎 孝孜	担当者氏名	松村 紀三男
担当者所属	諸塚村役場 産業課	担当者役職	課長補佐
担当者 E-mail	k.matsumura@morotsuka.jp	担当者電話番号	0982-65-1128
プロジェクト事業者 ※2			
事業者名(フリガナ)	耳川広域森林組合		
住所	宮崎県日向市東郷町大字山陰辛280番地		
代表者氏名	轟 猛	担当者氏名	山本 多喜弥
担当者所属	諸塚支所	担当者役職	支所長
担当者 E-mail		担当者電話番号	0982-65-0441
プロジェクト事業者			
事業者名(フリガナ)	(財)ウッドピア諸塚		
住所	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代3303		
代表者氏名	成崎 孝孜	担当者氏名	若本 裕貴
担当者所属	(財)ウッドピア諸塚事務局	担当者役職	事務局長
担当者 E-mail	Woodpia1@m-link.jp	担当者電話番号	0982-65-0465
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 ※5			
事業者名(フリガナ)	宮崎県 諸塚村		
オフセット・クレジット (J-VER)口座番号 ※6			

※1:プロジェクト代表事業者のパンフレット等、事業内容の説明資料を別途添付すること。代表者以外の主なプロジェクト参加者についてもパンフレット等があれば添付すること。

※2:プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス排出削減・吸収活動を実施する者を指す。代表者と同一の場合は、その旨を記載すること。

※3:その他プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。たとえば、下記が参加者として想定される。  
・ 温室効果ガス排出削減・吸収活動のとりまとめを行う者

※4:プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。

※5:オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者は、プロジェクト参加者(代表者、プロジェクト事業者、その他)のうちいずれかであること。

※6:オフセット・クレジット(J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。

B: プロジェクト活動の概要①

B.1	項目																																																																						
プロジェクト活動	<p><b>B.1.1 プロジェクトの目的及び内容</b></p> <p>本事業は、J-VER制度の準拠した森林管理の推進によりCO2吸収を促進し、低炭素社会を実現する一助となることとあわせて、適正な間伐を推進することにより、地域に根ざした森林管理者の雇用の創出につなげる。また、国土の保全、水源涵養など森林本来の機能を維持できるような森づくりを実現するとともに、豊かな森とその資源を活用した都市との交流による地域の活性化など多面的な効果を発揮させるきっかけとする。</p> <p>また、今回のプロジェクトは、諸塚村有林、(財)ウッドピア諸塚所有林、耳川広域森林組合所有の適正な管理を目的としているほか、FSC 森林認証対象林分であることから、諸塚村内関係者で構成されている、諸塚村森林認証研究会、森林炭素吸収量活用委員会の中で協議検討し、事業の計画、申請を行うものである。</p>																																																																						
	<p><b>B.1.2 プロジェクト実施前の状況</b></p> <p>諸塚の豊かな地域資源の象徴が諸塚全体に広がる美しいモザイク林です。スギ、ヒノキの針葉樹とクヌギ、ナラ等の広葉樹およびシイ、カシ、ツバキ等の照葉樹林の針広混交林で、この全国でも例のないパッチワークの林相は水質を守り、生態系にもやさしい環境共生の美しい森であり、豊かな森の恵みを生み出します。</p> <p>2004年には、環境保全型の森林産業を評価する国際的な FSC 森林認証を取得しました。諸塚村長をグループリーダーとして、村有林、林業施業の第3セクターである財団法人ウッドピア諸塚林、耳川広域森林組合林、そして民有林も合わせたグループ認証で国有林などを除いた村の森林面積の86%が森林認証の森となりました。長い歴史を経て豊かな森を育み、それを持続させる森づくりの環境共生哲学が世界的に認められたこととなります。更に木材資源の加工・流通の認証取得者も広がり諸塚の森から生まれた木材、住宅、さらには椎茸まで世界に認証されたものが、都市市民の手元に直接届けられるようになりました。</p> <p>諸塚村森林資源の現況 (1) 保有形態別森林面積 (平成17年3月31日現在)(単位: ha)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保有形態</th> <th colspan="2">総面積</th> <th colspan="3">立木地</th> <th rowspan="2">人工林率 (B/A) %</th> <th rowspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>面積 (A)</th> <th>比率 %</th> <th>計</th> <th>人工林 (B)</th> <th>天然林</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数</td> <td>17,775</td> <td>100.0</td> <td>17,490</td> <td>12,146</td> <td>5,344</td> <td>69.4</td> <td>284</td> </tr> <tr> <td>国有林</td> <td>348</td> <td>2.0</td> <td>342</td> <td>252</td> <td>90</td> <td>72.4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">公有林</td> <td>計</td> <td>807</td> <td>4.5</td> <td>799</td> <td>682</td> <td>117</td> <td>85.4</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>県有林</td> <td>168</td> <td>0.9</td> <td>168</td> <td>112</td> <td>56</td> <td>66.7</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>村有林</td> <td>639</td> <td>3.6</td> <td>631</td> <td>570</td> <td>61</td> <td>90.3</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>財産区有</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>私有林</td> <td>16,620</td> <td>93.5</td> <td>16,349</td> <td>11,212</td> <td>5,137</td> <td>68.6</td> <td>271</td> </tr> </tbody> </table>	保有形態	総面積		立木地			人工林率 (B/A) %	その他	面積 (A)	比率 %	計	人工林 (B)	天然林	総数	17,775	100.0	17,490	12,146	5,344	69.4	284	国有林	348	2.0	342	252	90	72.4	5	公有林	計	807	4.5	799	682	117	85.4	8	県有林	168	0.9	168	112	56	66.7	0	村有林	639	3.6	631	570	61	90.3	8	財産区有	0	0	0	0	0	0	0	私有林	16,620	93.5	16,349	11,212	5,137	68.6	271
保有形態	総面積		立木地			人工林率 (B/A) %	その他																																																																
	面積 (A)	比率 %	計	人工林 (B)	天然林																																																																		
総数	17,775	100.0	17,490	12,146	5,344	69.4	284																																																																
国有林	348	2.0	342	252	90	72.4	5																																																																
公有林	計	807	4.5	799	682	117	85.4	8																																																															
	県有林	168	0.9	168	112	56	66.7	0																																																															
	村有林	639	3.6	631	570	61	90.3	8																																																															
	財産区有	0	0	0	0	0	0	0																																																															
私有林	16,620	93.5	16,349	11,212	5,137	68.6	271																																																																

(地域森林計画)

総面積17,775ha 中、国有林が348ha と僅か2%で、民有林が98%を占めており、その大部分が村内の農林家の所有であり、しかも大規模所有者が少なく平均的に山林を所有している。人工林率については、69.4%と高い数値となっている。

民有林の齢級別面積 (平成17年3月)(単位:ha)

区分	総数	齢級別					
		1.2 齢級	3.4 齢級	5.6 齢級	7.8 齢級	9.10 齢級	11 齢級以上
民有林計	17,148	822	1,325	2,361	5,225	4,531	2,885
人工林	9,809	715	533	1,154	3,853	2,956	609
天然林	7,339	107	802	1,207	1,372	1,575	2,276
備考	民有林樹種別割合		スギ 44.45%		クヌギ 15.69%		
			ヒノキ 8.67%		ナラ 2.74%		
		マツ 4.01%		その他広葉樹 24.10%			
		その他針葉樹 0.07%					
竹林		95.68ha	無立木地 183.38ha		総計 17.427ha		

(地域森林計画)

民有林の人工林面積は 9,809ha となっており、8～10齢級までの林分が47.8%と収穫の段階を迎えてきているが、1～7齢級までの保育対象林分が47.1%を占めることから間伐等の保育施業を実施し、更に伐期の平準化を図るため、高齢級間伐も併せて実施する。

プロジェクト対象林の現況

区分	森林施業計画森林面積			間伐対象林	備考
	人工林	天然林	計		
諸塚村有林	(ha) 520.15	(ha) 57.88	(ha) 584.18	(ha) 84.78	スギ 51.7% ヒノキ 11.4% その他 36.9%
耳川広域森林組合	57.08	18.63	76.19	20.56	スギ 57.7% ヒノキ 6.3% その他 36.0%
ウッドピア諸塚	96.22	1.43	108.85	13.09	スギ 59.2% ヒノキ 7.3% その他 33.5%
計	673.45	77.94	769.22	118.43	

今回のプロジェクトについては、FSC森林認証林の中で森林施業計画を策定し、公的団体の所有林、諸塚村有林、耳川広域森林組合林、(財)ウッドピア諸塚所有林を対象林としている。  
対象林の割合は森林施業計画認定面積の15%程となっているが、針葉樹の人工林を中心に間伐率20~30%の計画的な間伐を実施し、林業の活性化、雇用の創出を確保する。

B.1.3 排出削減・吸収の達成手段

2008年4月から2013年3月の期間において、111.69haを対象として間伐を実施する。水土保全林では水源かん養の機能又は、山地災害防止機能の維持増進を図るため、下層植生の維持増進を図りつつ適正な森林の立木蓄積を維持し、根系の発達を確保するものとする。資源の循環利用林では、立木の生育促進並びに林分の健全化及び利用価値の向上を図ることとし、図1に示した育林体系図60年伐期(3等地 中庸仕立て)を基本とした育林体系に従った持続可能な森林経営のための施業を実施し、対象森林におけるCO2吸収を強化する。

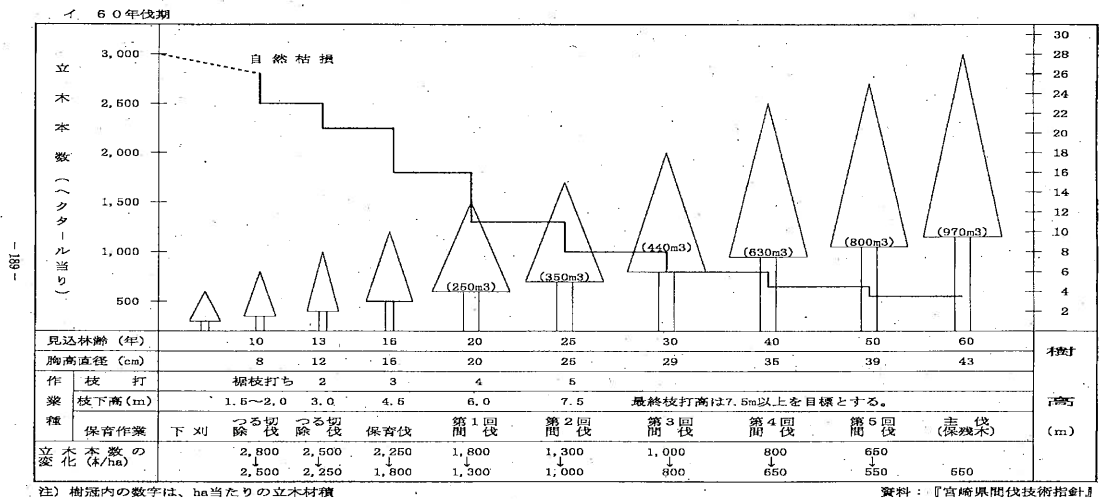


図-1「宮崎県間伐技術指針」育林体系図60年伐期

育林体系図は、間伐後の収量比数をおよそ0.7とする中庸仕立てを目指したものであり、森林施業計画における間伐率は、20~30%で計画となる。また、間伐の方法としては、地形、立木本数、搬出道の位置を考慮し、基本的には単木抜き切りとするが、林小班によっては列状間伐を採用する。

B.2 採用技術	<p>プロジェクトで使用する設備・機器等</p> <p>面積測定についてはコンパス(GISupply製 TruPulse360° 精度証明書付き)、樹高測定は、パーテックスⅢ(スウェーデン製)を法定年数(約10年)を考慮し、マニュアルに従って使用する。</p>																																																											
B.3 プロジェクト実施場所	<p>実施事業所名</p>	<p>①宮崎県諸塚村②耳川広域森林組合③財団法人ウッドピア諸塚</p> <p>① 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683番地 ② 宮崎県日向市東郷町山陰辛280番地1 ③ 宮崎県東臼杵郡諸塚村家代3303番地</p> <p>事業の実施場所の住所</p> <table border="1" data-bbox="368 757 1283 1850"> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字大谷山5286</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字石原1651-1</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字石原1651-3</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字真弓岳1-2</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字真弓岳1-4</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字真弓岳1-5</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字宮の向2215</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字上車屋 8405-10</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字小椎尾 1002-4</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字向の原3824</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字向の原 3755-1</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字向の原 3755-3</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字尾立山 3158タ2</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字上只石 8417タ4</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字尾平 2549-5</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字佐礼1352-4</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字九郎山 1365-3</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字九郎山 1365-1</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字高塚 1355-1</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字黒尾山 7770-2</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字黒尾山 7770-4タ1</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字明剣6769</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字明剣6770-1</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字中村6768-5</td><td>諸塚村有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字下小原井 3751-1</td><td>(財)ウッドピア諸塚所有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字恵奈幾藪 5736-1</td><td>耳川広域森林組合諸塚所有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字黒原7131</td><td>耳川広域森林組合諸塚所有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字黒原7146</td><td>耳川広域森林組合諸塚所有林</td></tr> <tr><td>宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字黒原7146-1</td><td>耳川広域森林組合諸塚所有林</td></tr> </table>	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字大谷山5286	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字石原1651-1	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字石原1651-3	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字真弓岳1-2	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字真弓岳1-4	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字真弓岳1-5	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字宮の向2215	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字上車屋 8405-10	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字小椎尾 1002-4	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字向の原3824	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字向の原 3755-1	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字向の原 3755-3	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字尾立山 3158タ2	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字上只石 8417タ4	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字尾平 2549-5	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字佐礼1352-4	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字九郎山 1365-3	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字九郎山 1365-1	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字高塚 1355-1	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字黒尾山 7770-2	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字黒尾山 7770-4タ1	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字明剣6769	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字明剣6770-1	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字中村6768-5	諸塚村有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字下小原井 3751-1	(財)ウッドピア諸塚所有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字恵奈幾藪 5736-1	耳川広域森林組合諸塚所有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字黒原7131	耳川広域森林組合諸塚所有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字黒原7146	耳川広域森林組合諸塚所有林	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字黒原7146-1	耳川広域森林組合諸塚所有林
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字大谷山5286	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字石原1651-1	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字石原1651-3	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字真弓岳1-2	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字真弓岳1-4	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字真弓岳1-5	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字宮の向2215	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字上車屋 8405-10	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字小椎尾 1002-4	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字向の原3824	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字向の原 3755-1	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字向の原 3755-3	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字尾立山 3158タ2	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字上只石 8417タ4	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字尾平 2549-5	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字佐礼1352-4	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字九郎山 1365-3	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字九郎山 1365-1	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字高塚 1355-1	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字黒尾山 7770-2	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字黒尾山 7770-4タ1	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字明剣6769	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字明剣6770-1	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字中村6768-5	諸塚村有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山字下小原井 3751-1	(財)ウッドピア諸塚所有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字恵奈幾藪 5736-1	耳川広域森林組合諸塚所有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字黒原7131	耳川広域森林組合諸塚所有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字黒原7146	耳川広域森林組合諸塚所有林																																																											
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代字黒原7146-1	耳川広域森林組合諸塚所有林																																																											



図-2 諸塚村位置図

概要

宮崎県諸塚村は、九州山脈の中央に位置し、村の面積の面積187平方キロの95%を山林が占める典型的な山村で、人口2000人、740世帯が急峻な山間の僅かな平地に88の集落を形成し、点在して暮らしています。

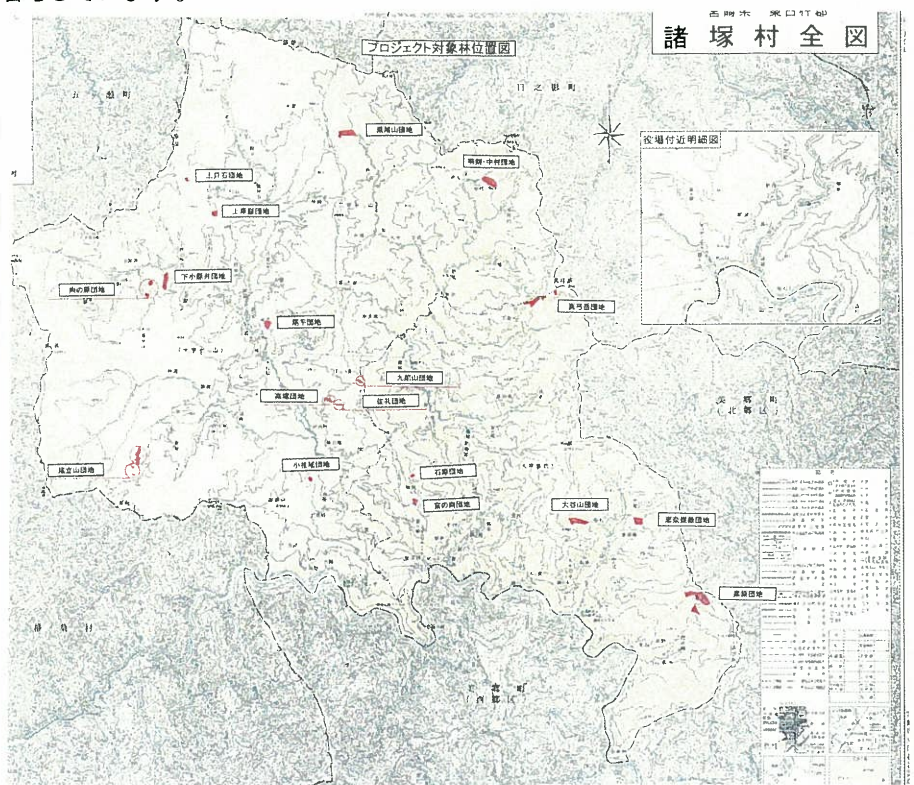


図-3 諸塚村プロジェクト位置図

B:プロジェクト活動の概要②							
B.4 プロジェクト期間	2008年 4月 1日 ~2013年 3月 31日 (5年 ヶ月)						
B.5 クレジット期間 ※1	2008年 4月 1日 ~2013年 3月 31日						
B.6 想定排出削減 ・吸収量 ※2	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	196	467	822	909	1,005	3,399
B.7 モニタリング報 告の頻度	年1回を予定						
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに○)	<input checked="" type="checkbox"/> 受給している / <input type="checkbox"/> 申請中 / <input type="checkbox"/> 検討中 / <input type="checkbox"/> 受給しない					
	補助事業名称	森林整備事業					
	補助金額 (申請額含む)	1,959,664 円					
	補助対象年月日	2008年 4月1日 ~ 2009年 3月 31日					
	補助金を受給している ことを証明する書類	平成20年度森林整備事業補助金の交付決定及び交付 確定 (資料1-S)					
B.9 他制度への申 請 ※3	申請の有無 (いずれかに○)	有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無					
	制度名 (有の場合のみ)						



備考	<p>(プロジェクトの排出削減・吸収量やプロジェクトの実施に影響を与える現在もしくは将来的なリスク要因(例えば森林火災、気象災害、病虫害やこれらに伴う排出量がプロジェクトの吸収量を上回るリスクなど)を特定し、影響の軽減措置を記述すること。)</p> <p>[森林火災] FSC森林認証取得時に策定した、「諸塚村森林管理・経営計画」で火災予防について定めている手法により予防を図る。(添付資料-1)</p> <p>[気象災害・病虫害] 平成17年に襲来した台風14号(24時間雨量 1000 mm超)については、森林被害をもたらしたが、それ以外についてのリスクは低い。 高齢級間伐にあたっては、地位、立木の生育状況(樹冠長率等)、路網の整備状況を考慮するほか、過去の台風被害データを勘察し、台風災害等の気象害や獣害を受けにくい箇所を選定して実施する。また、不測の気象害等も考えられることから、プロジェクト対象林においては全て森林国営保険に加入している。 獣害は近年シカによる被害が報告されているが、軽微であるためリスクは低い。 病虫害については報告されていないため、考慮しない。</p>
----	--

※1: クレジット期間は、2008年4月1日～2013年3月31日の間で設定すること。

※2: 想定排出削減・吸収量の算定根拠をモニタリングプランで提示すること。

※3: 海外のVER制度や都道府県等のCO2吸収量認証等、類似制度への申請の有無を記入。これは、一つのプロジェクトによる排出削減・吸収量に基づくクレジットが複数創出される等の、ダブルカウントを避けるためである。

C:方法論の適用		
C.1 ポジティブリストの適格性基準との整合性	C.1.1 ポジティブリストの番号	No. R. <u>001</u>
	条件	説明 ※1
	C.1.2 条件1	本プロジェクトは、森林施業計画対象の森林であり、森林法第5条に定める森林である。また、計画地の中には森林法第25条の森林も含まれる。(森林施業計画 資料-2)
	C.1.3 条件2	森林施業計画対象林の中で、2008年4月1日から2013年3月31日までの期間に間伐が行われる林分を対象とする。森林施業計画対象林には皆伐が計画されている林分も含むが、これらの場所は、森林施業計画に従い、主伐後適切に再造林される。また、クレジット発行対象期間内の土地の転用は計画されていない。モニタリング・検証にあたっては、森林施業計画全体の伐採届によりそれらを確認する。 また、間伐については、市町村森林整備計画、宮崎県育林体系図に従い、適切に実施していく。
C.1.4 条件3	本プロジェクト対象地は森林施業計画対象森林である。 1, 諸塚村有林 認定番号20-001(変更21-002) 2, 耳川広域森林組合 認定番号21-001 3, (財)ウッドピア諸塚 認定番号変18-204 4, 本プロジェクト対象地は全て FSC 森林認証(SGS-FM/COC-001862)を受けており、2009年6月に更新審査を受け、引き続き認証が有効であることとなった。その中で3つの基本方針(資料-1) 1, 環境保全に重点を置いた適切な森林経営 2, 社会的利益に則した森林経営 3, 持続可能な森林経営 を遵守している。	
C.2 適用方法論	方法論番号	JRAM R <u>001</u>
	方法論名称	森林経営活動による CO2 吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)に関する方法論

C.3 適用するガイドライン等	C.3.1 ガイドライン等への準拠	(オフセット・クレジット(J-VÉR)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)	
		準拠の説明	説明
		<input type="checkbox"/> 全く準拠しない	
		<input type="checkbox"/> 一部準拠しない	
		<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する	
		注) 全て準拠する場合は、説明は不要。	

	C.3.2 ガイドライン等が複数ある場合の選択	<p>(オフセット・クレジット(J-VÉR)制度モニタリング方法ガイドラインのモニタリングパターンを選択する場合)</p> <table border="1" data-bbox="550 369 1412 1433"> <thead> <tr> <th data-bbox="550 369 710 459">モニタリングパラメータ</th> <th data-bbox="710 369 949 459">モニタリングパターン</th> <th data-bbox="949 369 1412 459">選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="550 459 710 571">活動量</td> <td data-bbox="710 459 949 571"> <input type="checkbox"/> 森林 GIS  <input checked="" type="checkbox"/> 実測                 </td> <td data-bbox="949 459 1412 571">プロジェクト実施時に既に実測済み</td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 571 710 806">拡大係数</td> <td data-bbox="710 571 949 806"> <input type="checkbox"/> 実測  <input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等                 </td> <td data-bbox="949 571 1412 806">「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF 活動の補足情報に関する報告書」に記載されている拡大係数を使用する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 806 710 1433">収穫予想表</td> <td data-bbox="710 806 949 1433"> <input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)  <input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)                 </td> <td data-bbox="949 806 1412 1433">スギについては、平成20年3月に宮崎県環境森林部が作成した、長伐期施業技術指針の林分収穫表 P57～P63 の数値を、ヒノキ、その他については平成15年1月に林務部林政企画課が作成した森林施業計画業務の手引きの森林施業計画処理システム材積表 P175～P184 の数値を利用するが、地位についてはモニタリング時に確認する。(資料-4)</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="550 1444 1412 1579">(注) 選択理由の説明においては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。</p>	モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由	活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS <input checked="" type="checkbox"/> 実測	プロジェクト実施時に既に実測済み	拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測 <input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF 活動の補足情報に関する報告書」に記載されている拡大係数を使用する。	収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等) <input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	スギについては、平成20年3月に宮崎県環境森林部が作成した、長伐期施業技術指針の林分収穫表 P57～P63 の数値を、ヒノキ、その他については平成15年1月に林務部林政企画課が作成した森林施業計画業務の手引きの森林施業計画処理システム材積表 P175～P184 の数値を利用するが、地位についてはモニタリング時に確認する。(資料-4)
モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由												
活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS <input checked="" type="checkbox"/> 実測	プロジェクト実施時に既に実測済み												
拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測 <input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF 活動の補足情報に関する報告書」に記載されている拡大係数を使用する。												
収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等) <input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	スギについては、平成20年3月に宮崎県環境森林部が作成した、長伐期施業技術指針の林分収穫表 P57～P63 の数値を、ヒノキ、その他については平成15年1月に林務部林政企画課が作成した森林施業計画業務の手引きの森林施業計画処理システム材積表 P175～P184 の数値を利用するが、地位についてはモニタリング時に確認する。(資料-4)												
C.4 プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリ	C.4.1 ベースラインシナリオの特定	<p>(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明)</p> <p>間伐促進型: 森林を適切な状態に保つために必要な間伐が2007年度以降に実施されていない状態においては、年1回のモニタリングにおいて数量を適正に修正し、更に森林施業計画にも反映させる。</p>												

オ)	(ベースラインシナリオ特定に使用したデータの信頼性・入手可能性)	
	データの信頼性・入手可能性	説明
	<input type="checkbox"/> 低い	
	<input checked="" type="checkbox"/> 低くない	
	(森林施業計画通りに施業を実施しない可能性に関する情報)	
	施業計画通りに実施しない可能性	説明
	<input type="checkbox"/> 可能性がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	
	(プロジェクトの対象である森林が転用される可能性に関する情報)	
	転用の可能性	説明
<input type="checkbox"/> 可能性がある		
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない		

C.4.2BLS に 関連した温 室効果ガス 排出源・吸収 源の特定		(温室効果ガス排出源・吸収源)						
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">温室効果ガス排出源・吸収源</th> <th style="width: 40%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源</td> <td>地上部バイオマス、地下部バイオマス</td> </tr> <tr> <td>上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源	説明	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス、地下部バイオマス	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	なし
	温室効果ガス排出源・吸収源	説明						
	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス、地下部バイオマス						
	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	なし						
	リークージに関しては、以下のリストから該当するものがあればボックスにチェックを入れること。また、チェックしたリークージは、モニタリングプランにおいて定量化すること。							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">リークージの種類</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加                 </td> <td style="text-align: center;">該当なし</td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加                 </td> <td style="text-align: center;">該当なし</td> </tr> </tbody> </table>	リークージの種類	説明	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	該当なし	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	該当なし	
リークージの種類	説明							
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	該当なし							
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	該当なし							
	(温室効果ガス排出源・吸収源を特定するために使用した追加的な基準)							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準</th> <th style="width: 40%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 使用</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 使用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明	<input type="checkbox"/> 使用		<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない		
温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明							
<input type="checkbox"/> 使用								
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								

C.5 排出量・吸収量の定量化	C.5.1 不確かなデータの使用	(吸収量の定量化における不確かなデータの使用)	
		不確かなデータの使用	説明
		<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)
		<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
C.5.2 モニタリング対象とならない排出源・吸収源		(モニタリングプランを作成する上で、モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源が存在する)	
		モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源	説明
		<input type="checkbox"/> 存在する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない	
C.6 備考		<p>今回のモニタリングポイントは、樹種別に1ha以上の林小班で30ha以下の団地を設定し30ha毎に1箇所設置するが、尾根、沢をまたいで小班を形成している箇所においては、それぞれ設定する。</p> <p>また、モニタリングポイントの設置にあたっては、モニタリング方法ガイドラインに則り、該当小班の平均的な林相・地形を選定する。(資料3-1参照)</p>	

※1: ポジティブリストの条件を全て満たすことを、証拠書類等をもとに説明する。説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。

D:その他													
D.1 関連する許認可及び関連法令	(想定される関連法令等については、別紙「プロジェクト申請方法について」を参照のこと)												
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">①</td> <td style="width: 60%;">森林法</td> <td style="width: 35%;">市町村森林整備計画の樹立</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>森林施業計画</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>森林施業計画に係る森林の伐採等の届出</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保安林</td> </tr> </table>	①	森林法	市町村森林整備計画の樹立			森林施業計画			森林施業計画に係る森林の伐採等の届出			保安林
	①	森林法	市町村森林整備計画の樹立										
			森林施業計画										
			森林施業計画に係る森林の伐採等の届出										
			保安林										
	②	森林・林業基本法	地方公共団体の責務、森林所有者等の責務										
	③	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法(間伐等促進法)	該当なし										
	④	種の保存法	該当なし										
	⑤	鳥獣保護法	該当なし										
⑥	騒音規制法	該当なし											
⑦	景観法	該当なし											
⑧	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	該当なし											
⑨	環境影響評価法	該当なし											
D.2 ステークホルダー (森林所有者、森林管理者、森林管理費用負担者等)のコメント	当プロジェクトは、外のステークホルダーがないため、特になし。												
D.3 その他特記事項	諸塚村においては、バッファゾーンいわゆる「人と自然との緩衝地帯」特に「溪流沿い」「天然林」「尾根沿い」の3点を重点的に保護する取り組みを行っている。												